

平成29年度 第5回豊南地域会議 会議録

■日 時 平成29年7月20日(木) 午後6時30分～午後8時30分

■場 所 豊南交流館 1階 大会議室

■出席者 <委員> 天野 昭一郎 市川 繁 稲垣 令一
近藤 克己 瀧上 久 土井 泰久
成瀬 潔 西口 武彦 西山 修美
松岡 ミネ子 真鍋 淳子 三尾 良介
宮川 尚子 宮下 敏夫
<欠席者> 浦部 剛史 大瀨 繁之 坂田 一浩
稗田 猛 吉森 則雄
<交流館> 梶 いづみ (豊南交流館長)
<事務局> 小澤 都司子 (拳母事務所長兼地域支援課長)
大澤 学 (地域支援課副主幹)
梅村 美紀子 (地域支援課担当長)
勝上 奈津希 (地域支援課主事)

■次 第

開 会

豊田市民の誓い唱和

会長あいさつ

- 1 6月地域会議振り返り
- 2 地域予算提案事業(交通安全事業)について
 - (1) ほーなんだ!豊南～豊南をよくする会～(意見集約会)について
 - (2) 平成30年度事業の素案に対する意見交換会について
 - (3) 啓発部会
 - ① 商店での啓発活動
 - ② みどり線の周知啓発
 - (4) 運動部会
 - ① 横断歩道両脇への横断旗の設置
 - ② ハイビーム運動
 - (5) 計画部会
 - ① 豊南地域各種団体での意見交換会
 - ② 来年度の地域予算提案事業について

閉 会

■議 事(要約)

- 1 6月地域会議振り返り
- ◇ 前回地域会議での決定内容を確認

2 地域予算提案事業（交通安全事業）について

(1) ほーなんだ！豊南～豊南をよくする会～（意見集約会）について

◇ 意見集約会の感想や今後の活用の仕方等について協議

◆ 主な意見等

- ・議論の中で、地域カルテについてあまり触れられていなかった。
- ・課題や伸ばしたい魅力に対して、「こうするとよい」という視点が少なかった。
- ・子どもの遊び場に関する意見がいくつかあった。

⇒広場を増やすのではなく、今ある広場の魅力を高めるという視点が重要である。

- ・公共交通に関する意見が多かった。
- ・水源公園に関する意見が多かった。

⇒水源公園は利活用に制限が多く、植栽などを行うのは難しいと思う。

⇒若者の利用を増やしていけば、活性化につながると思う。

- ・今回の意見と昨年度実施したアンケート結果を対比して、検討していきたい。
- ・意見に対して地域会議がどのように検討しているかということ、随時地域に報告をすることが重要である。

◆ 決定事項

- ・次回以降継続して協議する。
- ・次回検討の資料として、アンケート結果と意見集約会での意見についてまとめたものを用意する。

(2) 平成30年度事業の素案に対する意見交換会について

◇平成30年度事業の素案に対する意見交換会の開催日時、参加案内等について協議

◆ 決定事項

- ・開催日時は9月7日（木）午後6時30分から1時間半程度とする。
- ・会場は豊南交流館多目的ホールとする。
- ・案のとおりチラシを作成し、参加案内を行う。

◇ 以下、各部会の協議内容

(3) 啓発部会

① 商店での啓発活動

- ・秋、冬の交通安全市民運動期間中、各1日で行う。
- ・実施場所は地域内のスーパーマーケット2店舗とし、秋、冬の交通安全市民運動期間中、各1箇所で行う。
- ・啓発物品は、交通安全PRトイレットペーパーまたはみどり線のことについて掲載したティッシュペーパーを使用する。

② みどり線の周知啓発

- ・チラシを作成し、自治区へ回覧してPRする。

⇒地域外から通勤してくる人への啓発についても検討する必要がある。

(4) 運動部会

① 横断歩道両脇への横断旗の設置

- ・道路以外の敷地に看板の設置を検討する。
- ・旗入れ缶を横断歩道の存在を注意喚起できるデザインにする。
- ・横断旗の設置場所は、原則としてガードレール等があり取り付けが可能な場所とする。
- ・エコバッグや通学用のバッグを使った注意喚起についても検討する。

② ハイビーム運動

- ・次回以降継続して協議する。

(5) 計画部会

① 豊南地域各種団体での意見交換会

- ・配布資料は案のとおりとする。

② 来年度の地域予算提案事業について

- ・来年度の交通安全事業の取組として、豊南地域各種団体との意見交換会、小中学生への啓発、高齢者への啓発、ハンドアップ運動の推進を実施する。
- ・平成31年度の新規事業についての検討方法は、次回以降検討する。

(終了)

次回開催日 平成29年8月24日(木) 午後6時30分から
豊南交流館